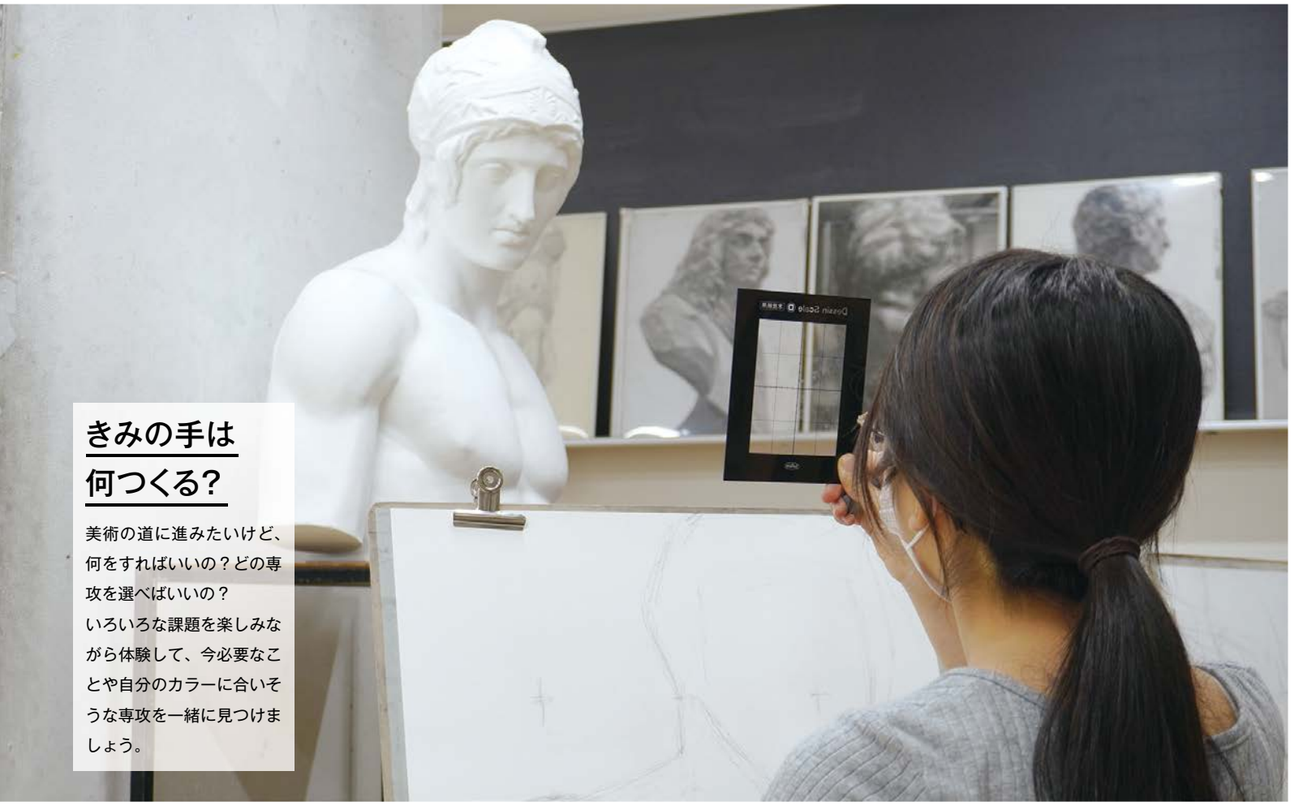
基礎高1・2年 専攻

設置クラス	平日２日専科	月・火／水・木／木・金	17：30~20：30
	平日３日専科	月・火・水／火・水・木／水・木・金	17：30~20：30
	土　曜　専　科	土曜	9：30~18：00
	日　曜　専　科	日曜	9：30~18：00



きみの手は何つくる?

美術の道に進みたいけど、何をすればいいの？どの専攻を選べばいいの？
いろいろな課題を楽しみながら体験して、今必要なことや自分のカラーに合いそうな専攻を一緒に見つけましょう。

指導スタッフ

油絵・日本画・彫刻・デザイン・工芸
各々の専攻を学んだ講師陣が皆さんと一緒に考え、悩み、サポートします。

●講師

樫尾 聡美	多摩美大大学院デザイン修
日下 真梨子	武蔵野美大彫刻卒
鈴木 一太郎	愛知芸大大学院彫刻修
髙津 ゆい	愛知芸大大学院デザイン修
富永 敏博	愛知芸大大学院油画修
松田 剣	東京藝大大学院工芸修
宮治 綱	愛知芸大大学院日本画修
矢澤 七奈	愛知芸大大学院油画修
渡邊 亮平	愛知芸大大学院博士課程修

●チューター

川越 友晴	愛知芸大油画卒
齋藤 勇介	愛知芸大大学院彫刻在籍
下村 陽菜	名古屋芸術大美術在籍
中居 真紀	名古屋造形大美術表現卒

（2024年12月現在・50音順）

年間カリキュラム

春期講習 1学期

デッサンを描いてみる

●入塾ガイダンス
●デッサン
●スケッチ
●ドローイング
●専攻体験（ゼミ）

［姿勢づくり］
～観察することについて理解を深める～

●画材にふれる
●モチーフをよく見ることから始める
●色にふれる
●立体にふれる
●自分の作品を客観的にみる力を養う
●自分の力を確認する（デッサンコンクール）

夏期講習 2学期

集中してデッサン力をつける

●デッサン
●専攻体験（ゼミ）
●自由制作
●全体保護者会（動画配信）

［体験する］
～専攻を知る～

●各専攻の考え方や特徴を知り、道具や画材を体験する（油絵、日本画、彫刻、デザイン、工芸、映像の課題）
※年度によって専攻の種類が変わる場合があります
※年間予定によっては１学期に専攻体験（ゼミ）を行う場合があります
●観察し発見したことから発想する力と表現する力を身につける（さまざまなデッサン課題）
●テーマに対して自分なりの表現に挑戦してみる（自由制作）

冬期講習 3学期

デッサン力を深める

●デッサン
●クロッキー
●デッサンコンクール
●選択課題（平面、立体）
●三者面談

［発展へつなげる］
～専攻を決める～

●進学を意識して観察力、発想力、表現力をさらに高める
●自分の力を確認する（自力デッサン）
●１年を振り返る（ロングデッサン）

専攻体験（ゼミ）の様子

油絵ゼミ

モチーフをもとに個々の発想を生かして油彩で表現します。発想を豊かにするためにドローイングも行います。

彫刻ゼミ

モチーフをよく観察して芯棒をつくり、粘土で造形していきます。立体と空間の意識を高めていきます。

映像ゼミ

数人のグループで映像を制作します。みんなで話し合い協力しながら撮影、編集していきます。

デザインゼミ

用途を想定したデザインを考えます。人に伝える工夫や楽しさを体験します。

日本画ゼミ

日本画専攻で主に使用する、岩絵の具とさまざまな質感の画材に触れながら絵画制作を体験します。

工芸ゼミ

いろいろな切り口でモチーフを観察し、つくり方や道具を工夫して課題に取り組みます。

私の一週間 ～塾生３人に聞きました～

基礎高１・２年専攻では皆さんのライフスタイルにあったクラスが選べます。
学校の行事、部活、習い事、河合塾が遠いなど、それぞれの学校生活や事情にあわせて
無理なく通えるクラスをフレキシブルに選択できます。

POINT 1 平日２日＋土曜専科など複数クラスの所属も OK。

POINT 2 休みの分も事前に申請すれば振替ができます。
（回数や振替可能な曜日は所属クラスで異なります）

POINT 3 クラス変更もできます。

POINT 4 見学、１日体験も随時受け付けています。

基礎高１・２年専攻
Instagram
2025年4月
開設予定！

初めての人にオススメ
平日２日専科
（制作時間：週６時間）

《授業日》月・火／水・木／木・金　１７：３０～２０：３０
授業内容やアトリエの環境など様子を見ながらゆっくりと慣れていきたい人はコチラ。

加藤 杏吏さん（平日２日クラス）
愛知／北高校２年生

学校が終わってから通うのに時間がちょうど合っていたためこのクラスを選択しました。短い時間で、より集中力を高めて取り組めます。また他の塾生の作品を観たり、講評が聞けるので勉強になります。専門知識を持った先生方に相談できてとても心強いです。

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後			学校				
夕方							
夜				KJ			

力をつけたい人にオススメ
平日３日専科
（制作時間：週９時間）

《授業日》月・火・水／火・水・木／水・木・金　１７：３０～２０：３０
受験を見据えて実技力を伸ばしたい、少しでも長く制作していたい。
週６時間では物足りない。そんな人はコチラ。

森井 優月さん（平日３日クラス）
N高校２年生

上達するには日々の積み重ねが大事だと思い、基礎高の中で一番日数が多い平日３日クラスを選択しました。このクラスは制作時間が長く一つの課題に納得がいくまで取り組めます。また美術に関して知識が豊富な塾生、先生が多く、絵づくりの刺激になります。

	月	火	水	木	金	土	日
午前	バイト	勉強		バイト			
午後							勉強
夕方						習い事	
夜			KJ				

遠方の人にオススメ
土曜専科・日曜専科
（制作時間：週7.５時間）

《授業日》土曜／日曜　９：３０～１８：００
部活や他の習い事と両立したい人。遠方から通いたい人はコチラ。
１日集中して制作でき、効率よく力をつけていけます。

杉尾 滉一さん（日曜クラス）
岐阜／大垣北高校２年生

部活動との両立のために、自分の生活に合った日曜日のクラスにしました。このクラスでは課題が一日で完結するので、平日の活動と休日の時間を切り換えながら作品に向かえます。一日を通して他の塾生の制作が見られるので一人とは異なる気づきがあります。

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後			学校				KJ
夕方							
夜		学習塾		学習塾			

基礎高１・２年　全クラス共通

年間を通して表現のベースとなるデッサン、クロッキー、ドローイングを継続的に取り組んでいます。「観察、発見、表現」を基本とした課題を行います。どのタイミングで入塾しても対応できる課題内容なので、基礎力を身につけられます。

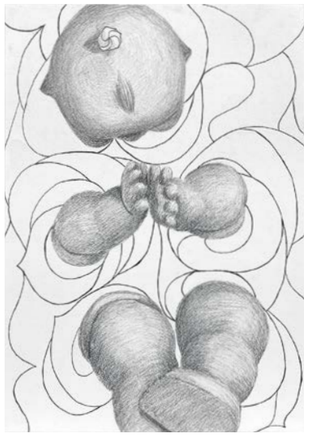
1

2

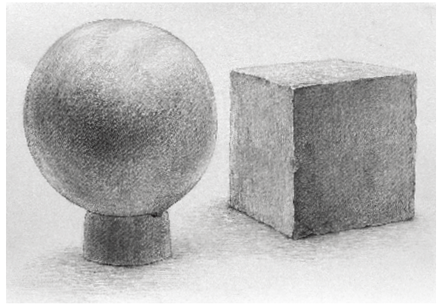
3

4

5


6

7


8

1. 一点透視の構図と物の位置関係を表した描画の変化が、広がりのある空間表現になっています。モチーフの固有色や鳥の羽、紙のパイプなど素材の質感の違いを的確に描けており、見やすいデッサンです。
2. 色の濃い部分も単調にならずしっかりと黒色を乗せることができており、グレーの色味にも繊細に反応できているため、光を感じる気持ちの良い画面が描けています。
3. 光を表現するには陰影の変化をよく観察して描く必要があります。作者はそこをよく頑張った！モチーフ同士の相違を比較し、疎かになりがちな床の変化も丁寧に描いています。統一感ある作品です。
4. 複雑なポーズをした石膏像ですが構造を認識しながら組み立てられたデッサンです。白黒グレーの色写しにならず、手で触りながら形を追うような鉛筆運びによってリアリティのある立体感が描けています。
5. 手と紙の関わり方を工夫して、臨場感を持ちながら情報量を詰め込んだ良い作品に仕上がっています。手のポーズにシワをつくったり、紙を破って複雑な表情を演出しているところに積極性を感じられます。
6. 画面の一部に線での表現を入れるという条件のデッサンです。モチーフであるキューピーがマヨネーズのお風呂に浸かっている様子をイメージして描かれています。形出しがおもしろく、美しい作品です。
7. ドローイングは自分の表現を探り、広げる方法の一つです。自分の知らなかった何か（精神や身体）を、さまざまな描画材を利用して、慣れない課題でも思い切ってチャレンジして描くことができました。
8. モチーフに対して素直に反応しながら、なんとかそのモチーフを表現しようと観察している作者の姿勢が感じられます。どこまでもモチーフに迫っていこうとするような見ごたえのあるデッサンです。

工芸ゼミ

課題：ヘッドピースを制作しなさい。
条件：持参したモチーフ、またはアトリエに置かれたモチーフをきっかけにして考案すること。ラドール、針金、紙、糸、その他を材料として制作すること。

1. 石膏像が大好きな作者ならではのアイデアです。厚紙の曲面に合わせて丁寧につくったラドールのデコレーションをうまく貼りつけました。鉛筆による彩色からは石膏デッサンへの強い意欲が感じられます。

2. 糸で操るクネクネしたおもちゃを孫悟空の頭の輪に見たてて制作しました。黒いオスとピンクのメスが仲良さそうにしています。装着してもふんわりとしていて作者の朗らかな人柄が滲み出ています。

3. 鮑の貝殻をモチーフにしたハンチング帽です。しっかりとモチーフを観察し、細かな表情までこだわりながら丁寧に成形と彩色を行うことができました。向かって右下のバックルがさりげなく帽子であることをアピールしていて素敵です。

日本画ゼミ

課題：自由に画面を構成し、日本画材を使って表現しなさい。
条件：スケッチ課題、描画課題、アトリエに置かれたモチーフのスケッチをもとにすること。

1. 亀をシルエットのみで表現するという思い切った構成が、箔の形とうまく調和しています。また、色数を絞ることで金と黒の対比が美しく、作者の狙いがしっかりと表現できている作品です。

2. 日本画ならではの平面的な装飾美をうまく取り入れた作品に仕上がっています。スケッチを生かした鳥の描写がとてもシャープで観察の大切さが伝わって来ます。箔の光沢感を利用して、質を対比させているのも大胆な画面構成に役立てられています。

3. 貝殻をモチーフとして美しくイメージを広げた作品です。日本画材の胡粉や、緑青、群青を生かした表現がとても魅力的です。画面構成もスッキリした色彩バランスになっています。

油絵ゼミ

課題：「ことばにならない」とドローイングを組み合わせて描きなさい。

1. 色・形・絵肌の関係が魅力的で楽しげに見えます。直後、不穏さや苛立ちも感じる。像に鎖、吹出し型の中のモヤモヤ…。制作時の自分の状況を投影したそう。自画像的な作品です。
2. ドローイングで描いた作品を、うまく油絵と組み合わせることができました。モノトーンの色味と何も描かれていない空間が、却ってさまざまな作者の思いを想像させてくれる作品です。

1

2

デザインゼミ

課題：ハリボー、ステンレスパイプ、ドーナツ状の形がプリントされた紙、以上の３つを使って自由に色彩表現しなさい。
条件：演習で制作したマチエールを画面の一部に残すこと。

1

2

3

1. グミの「溶ける」特性をテーマにした作品です。「溶けきったモノ」から「形を残すモノ」、またその中間がバランスよく描写されています。ビビットな色選びも素敵です。
2. モチーフとマチエールをうまく融合させた作品です。それぞれの色選びやサイズ感も独特でリズム良く、作者の個性が光ります。パイプのドットも効いています。
3. プリントされたドーナツ状の形の真ん中の丸が、落ちてずれているところに作者のアイディアのおもしろさを感じます。背景の黒とプリントの白、ステンレスパイプのグレーがハリボーの有彩色の美しさを引き立てています。空間的に描けているのも良いです。

彫刻ゼミ

課題：選択したモチーフを組み合わせて立体構成しなさい。
条件：６種類のモチーフから１種類を選択し、選択したモチーフを３体制作すること。

1. ボトルの中心をしっかりととらえられており、その軸を連続的に変化させ、上部に配置された蓋によって、末端まで動きのある立体的な構成となっています。表面の質感のつくり込みも完成度が高い作品です。

2. フラスコのハリのある質感を感じられます。不安定な球体が重なり、大きく軸を変化させることで緊張感のある立体的な構成をつくり出しています。

3. 観察を基に、確かな比率やボリュームを粘土によって形づくられています。木材の表皮のつくり込みによる質感表現が、モチーフの印象をとらえられており、実物のようなリアリティを生み出しています。

3

4

3. 迫ってくる人物が、作者の心情を観る側にじわじわと伝えています。大胆な構図と淡い色味に温かさを感じられ、一筆一筆丁寧なタッチもさらに作品を引き立たせています。
4. 見慣れた景色にも記憶に残る瞬間があると思います。画面上下で鏡面のような構成をし、一枚の作品に二つの光景・時間を表現しました。さまざまな描写も相まって心地良いです。